

広報こさい

# Kosai

2023

4.15号



いつになっても、忘れない—

3月13日 新所幼稚園お別れ会

3月をもって閉園した新所幼稚園の最後の卒園児。

「思い出のアルバム」を歌う、元気な声が園舎に響きわたりました。



# どうする？脱炭素

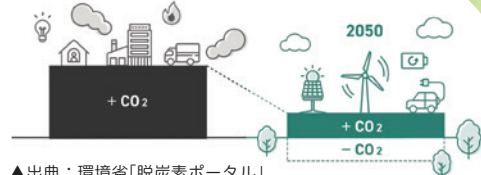
「カーボンニュートラル」ってよく聞くけど何のこと？何をすればいいの？やらないとどうなるの？そんな疑問にお答えします。

## 湖西市は令和3年7月に ゼロカーボンシティ宣言を行いました

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量を、2050年までに**実質ゼロ**にすることを目指しています。

### 取り組みの4本柱

- ①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
- ②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
- ③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
- ④行政におけるゼロカーボン化の推進



▲出典：環境省「脱炭素ポータル」  
[https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\\_neutral/](https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/)

### ◎ポイント

浜名湖や湖西連峰などの豊かな自然環境を次世代に継承していくとともに、市の産業の柱である「モノづくり産業」を将来も持続的に発展させることを目指しています。

## Q そもそも、なぜ世界的にカーボンニュートラルへの取り組みが進められているの？

**A** 近年、地球温暖化の進行により、これまでに経験のないような集中豪雨や猛暑などの異常気象による災害が多発しています。温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル」は、地球に住む私たち人間を含む生物の未来を守るために、非常に重要なことです。



令和4年7月豪雨による市内の被害▲

## Q 家庭でできることはあるの？

**A** 節電・節水、リサイクルBOX・公共交通・次世代自動車の利用、ウォームシェア・クールシェア、フードバンク参加、買い物袋・マイボトルの持参、再配達防止への協力、エコドライブなど、日々の生活の中でできることがあります。COOL CHOICE(賢い選択)で脱炭素に取り組みましょう。

湖西市では、低公害車や設備を導入する家庭向けに“**湖西市住宅用脱炭素化促進設備等導入支援補助金**”を用意しています。令和5年度からは低公害車の購入に加え、リースも対象になります！

### 令和4年度実績

市内で**106**世帯が、計**474**万円分の補助を受けました！

## 拡充

## 湖西市住宅用脱炭素化促進設備等導入支援補助金

### 補助対象(補助額)

- ▶家庭用エネファーム(一律6万円)
- ▶家庭用蓄電池(1万円/kWh ※上限4万円)
- ▶V2H充放電設備(一律4万円)
- ▶低公害車(電気・PHV 一律5万円、燃料電池 一律15万円)

## 中小企業 などの皆さんへ

# 今から“脱炭素経営”に取り組みませんか？

企業の皆さんにも、カーボンニュートラル(脱炭素)の取り組みが求められています。

とはいえ、何のメリットがあるのか、何から始めていいのかわからないという声も多いのが現状です。そんな疑問にお答えします。



自分の会社が、  
カーボンニュートラルに  
取り組む必要が  
あるのだろうか？

### ≫ 世界の動きと湖西市への影響

例えば、自動車産業では世界各国においてハイブリッド車を含むガソリン車の新車販売が今後禁止される(EUは2035年に事実上廃止)



カーボンニュートラルに対応できないと、**サプライチェーン(※)**から**除外**される恐れがあります。自動車産業を中心に「モノづくり産業」を柱としている湖西市にとっては喫緊の課題です。

※サプライチェーン…製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの一連の流れのこと。

これまで、企業が取引先を選ぶ時は、品質・価格・納期が重視されていました。しかし、今後は、「製品の製造過程におけるCO2排出量が少ないかどうか」「カーボンニュートラルに配慮している企業なのかどうか」という視点が加わることが想定されます。カーボンニュートラルに取り組まないことは事業継続の危機にもなり得るのです。カーボンニュートラルに取り組むことは、次のようなメリットがあります。

### ≫ 企業がいまカーボンニュートラルに取り組むメリット

- 1 優位性の構築 いち早く取り組むことで「先進的な企業」というイメージを獲得できます
- 2 光熱費・燃料費の低減 年々高騰する原料費抑制の対策にも
- 3 知名度・認知度向上 環境に対する先進的な取り組みがメディアに取り上げられることも
- 4 社員のモチベーション・人材獲得力向上 自社の社会貢献は社員のモチベーションに
- 5 好条件での資金調達 企業の長期的な期待値を図る指標として重要になってきています

(出典：環境省「中小規模事業者向けの脱炭素経営導入ハンドブック」)

取り組まないといけないことは何となく分かったけど、何から始めていいのかわからない…。



### ≫ カーボンニュートラルのステップ

#### 【1】現状を把握・診断する

自社が「どの程度CO2を排出しているのか」「どれだけ削減できる可能性があるのか」を知る「省エネルギー最適化診断」を受けましょう。

#### 【2】計画を立てて、削減対策を実行する

自社のCO2排出源の特徴を踏まえ、長期的に設備投資が必要な取り組み、エネルギー転換が必要な取り組み、短期的にお金をかけずにできる取り組み、設備投資が不要な取り組みのように、レベルを分けて計画を立て、できることから実行します。

≫ 診断の受診や設備投資に使える補助金があります！(次ページへ)

# 中小企業などの皆さんが使えるカーボンニュートラル支援補助金

## 拡充

### 市内中小企業等 湖西市省エネルギー診断奨励金

省エネルギー最適化診断を受ける費用を全額補助します。今年度から対象事業拡大！

対象者	市内に事業所を有する中小または個人事業主
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ (一財)省エネルギーセンターの省エネ最適化診断を行った、中小企業等が有する事業所</li> <li>▶ (NEW)省エネお助け隊(経済産業省の地域プラットフォーム構築事業で採択された省エネルギー支援団体をいう。)が実施する省エネ診断を行った、中小企業等が有する事業所</li> </ul>

## 省エネ最適化診断を受けました！

### 実施例

### 湖西浄化センター

令和4年12月に診断を受けました。その結果、機械棟吸排気ファンのインバータ化、太陽光発電設備導入自家消費などの取り組みをすることで、原油換算で約62.8kL、金額で約540万円(ともに削減率：約12.5%)の年間エネルギー削減ポテンシャルが見込めるという提案を受けました。



## NEW

### 湖西市省エネルギー設備 導入支援事業費補助金

既存設備を省エネ設備に更新する事業の経費の2分の1(最大30万円)を補助します。

対象者	市内で事業を営み、今後も営む予定の中小または個人事業主
対象経費	空調・給湯・照明(LED等)・換気・冷凍冷蔵(電気冷蔵庫、冷凍庫、冷凍機内蔵型ショーケース等)・産業用ボイラ・産業用モータ・電気・ガス・測定機器などの設備を更新する際的设计費・設備費・工事費、既存設備の撤去・処分費
申請期間	5月1日～12月28日

## NEW

### 湖西市事業用低公害車購入等 費用支援補助金

事業所で使用する低公害車の購入またはリースの費用を補助します。

対象者	市内に事務所または事業所を有する事業者
対象事業	市内の使用を本拠とする低公害車の購入または3年以上のリース契約(サブスクリプションを含む)
補助額	車種に応じた次の金額 ※同一年度内に1事業者につき1台まで ①燃料電池自動車：150,000円 ②プラグインハイブリッド自動車：50,000円 ③電気自動車：50,000円 ④超小型電気自動車：50,000円
申請期間	4月1日～令和6年3月31日

## まずはご相談ください！

### ●補助金の問合せ先

▶湖西市環境課 ☎053-576-1141  
E-MAIL kankyo@city.kosai.lg.jp

### ●事業者向け省エネ・脱炭素全般に関する問合せ先

▶企業脱炭素化支援センター ワンストップ窓口  
☎054-273-4437  
E-MAIL innovate@ric-shizuoka.or.jp



さまざまな補助があるんだなあ！ まずは省エネ最適化診断だけでも受けてみようか！

## 各補助金の詳細はこちら

※上記以外にも対象条件などがあります。ウェブサイトでご確認ください。

